

2022年5月7日 於吹田市立博物館開館30周年記念春季特別展講演会

「近代新興人形劇・『紙芝居の作り方』から出口座まで～ 人形劇と紙芝居は双生児～」

京都先端科学大学名誉教授 堀田 穰

序 出口座に掲げられた肖像写真

帝釈天 玉林寺の石柱から出口町に入っていくと、傾いて建っていた人形芝居小屋・出口座があった。そこに掲げられた9人の肖像写真は、人形座→大阪人形座→出口座の関係者たちのものだった。

その1. 人形座

大正12(1923)年、近代新興人形劇が初めて試演された。

演劇の変革に燃える18歳から30歳前後までの若者たち。

伊藤熹朔 舞台美術のパイオニア 教育紙芝居舞台を考案

千田是也 戦後新劇運動の指導者

伊藤道郎 世界的な舞踊家

大正新興芸術運動の大きな流れの中 小山内薫、土方与志
人形劇と模型舞台

この頃、紙芝居は紙人形による芝居「立絵」だった。

現在の平絵が出てくるのは昭和5(1930)年。(街頭紙芝居)

写絵→立絵→平絵

『紙芝居の作り方』久能龍太郎、春陽堂、昭和8(1933)年

久能龍太郎 本名・久野文雄 慶應劇研究会で活動 『模型舞台』

久野豊彦 大正新興文学運動の小説家

「作品傾向は軽佻・浮華な世相の一面をそのまま反映して、皮相なモダン面を誇張するにとどまった」

これに比してプロレタリア文学は小林多喜二の虐殺に象徴される。

氏名	生年（西暦）	年齢
久能龍太郎	1892年生	31
伊藤道郎	1893年生	30
久野豊彦	1896年生	27
小代義雄	1897年生	26
伊藤熹朔	1899年生	24
浅野孟府	1900年生	23
千田是也	1904年生	19
藤田圭雄	1905年生	18

大正12(1923)年当時の年齢

その2. 大阪人形座

戦争体制の進行。東京と大阪の違い。

左翼の秘密結社化、スターリニズムの拡大。

大正新興芸術運動に影響した欧米の傾向

ロシア・アヴァンギャルドとドイツ表現主義

印象を定着することから、不安を表現することへ。

文化芸術も戦争体制に無縁ではいられなくなり、プロパガンダの道具として使用される。大政翼賛会文化運動。

ナチズムでもスターリニズムでも退廃芸術は嫌われ圧殺された。

その3. 出口座

小代義雄と阪本一房の師弟関係は出口座創設以降も継続する。

小代義雄が描いた『せむしの子馬』をスライド化したもの、現在行方不明。

今回の特別展での紙芝居については、一房さんが意図したアバンギャルド的な試みが触れられていない。

最晩年の試み

教育紙芝居の再演出

手づくり紙芝居の制作

『でくの木』小森時次郎作・画

『風』ふるた加代作・画

『たすけて』小森時次郎作・画

結論

大正末期の近代新興芸術運動に関わった人々は、模型舞台を媒介して教育紙芝居成立にも影響している。その前衛性は小代義雄から阪本一房まで受け継がれた。

参考文献

堀田 穰「成立市場における『紙芝居の作り方』－紙芝居に関する最初の単行本、その意義と著者久能龍太郎のこと」『比較日本文化研究』第11号、2007年

堀田 穰「新興人形劇から紙芝居へ メタデータとしての引用の織物」『京都学園大学司書課程年報2015』2016年

堀田 穰「近代新興人形劇・『紙芝居の作り方』から出口座まで－人形劇と紙芝居は双生児－」、図録『出口座と阪本一房－現代人形劇の継承と発展－』吹田市立博物館、2022年